

「富県宮城の実現」に向けた主な取組実績・取組予定について

東北経済産業局

1. 平成21年度の主な取組実績

(1) TOHOKUものづくりコリドー

※TOHOKUものづくりコリドー関連事業のうち、宮城県内企業が関係する各案件は次のとおり。

■産業クラスター会員企業数：140社

■技術開発関連助成事業

- ・地域イノベーション創出研究開発事業採択数（継続含む）：9件
- ・戦略的基盤技術高度化支援事業採択数（継続含む）：9件
- ・ものづくり中小企業製品開発等支援補助金採択数（製品実証）：15件
- ・ものづくり中小企業製品開発等支援補助金採択数（試作開発）：28件

■販路開拓支援事業

- ・セールスパートナー事業支援企業数：3社
- ・Embedded Technology 展 2009 出展支援企業数：5社
- ・セミコンジャパン 2009 出展支援企業数：10社・団体

(2) 企業立地の促進

- ・基本計画変更同意数3地域（①みやぎ自動車関連産業集積形成基本計画(広域連携事業の追加)、②みやぎ高度電子機械産業集積形成基本計画（業種の追加と広域連携事業の追加）、③宮城県南部地域食品関連産業等活性化基本計画（集積区域の追加）

(3) 中小企業地域資源活用プログラムの促進

- ・宮城県の策定した基本構想の認定、変更認定(地域資源総数238件、うち農林水産物64件、鉱工業品55件、観光資源119件)
- ・事業計画認定数：4件
- ・地域資源活用新事業展開支援事業（新事業活動促進支援補助金）採択数：5件
- ・JAPAN ブランド育成支援事業（戦略策定支援事業）採択数：1件
- ・〃（ブランド確立支援事業）採択数：1件（3年目）

(4) 農商工連携の促進

- ・事業計画認定数 4件
- ・農商工等連携対策支援事業(新事業活動促進支援補助金)採択数：3件

2. 平成22年度の主な取組予定

(1) 次世代自動車、先進医療機器等イノベーションの促進

一定の企業集積と先進的な技術シーズの存在する自動車、医療機器等の分野を中心として、低炭素・高齢化社会ニーズを踏まえた「安全安心」「環境」をキーワードとしたイノベーションを内発的・連続的に創出するための取組を強化する。

(2) 農商工連携など地域資源を活用した新成長産業の創出

農林水産業のウェイトが高く、関連する食料品製造業や商業・サービス業の集積も見られることから、そのつながりを強化し、それぞれの持つ「強み」を積極的に相互活用(協働)し、地域経済を底支えする新たな成長産業として育成する取組を強化する。

(3) 東北地域の特性を踏まえた持続可能な低炭素社会の形成

低炭素社会に向けた社会システムの構築、家庭、産業・運輸・業務用部門の省エネ・新エネの導入促進、地域力を活かした非鉄金属リサイクルの推進、更に理解促進活動等を推進する。

(4) グローバルゲートウェイとしての東北地域

関係機関による連携支援体制等の構築により、東北圏の輸出促進環境を図るとともに、輸出ニーズを有する企業の発掘を行い、企業の輸出段階に応じ効果的に関係機関による支援を行う。